



## 平成28年度 「第15回日本臨床工学技士教育研究会」

### 急速に拡大し続ける循環器治療領域業務における 学生教育・臨床実習教育はこれで充分なのか？

#### 臨床実習担当者、養成校教員、メーカー等の教育担当者、学生教育にご関心のある方

循環器領域の業務は急速に拡大し、外科系はもちろん、内科系循環器治療業務も新しいデバイスの登場などにより、医療機器のスペシャリストである臨床工学技士への期待が一層高まっています。

臨床現場側からみた学生教育を養成校と一緒に検討し続けている当研究会ではこの度、第26回日本臨床工学会京都大会ワークショップならびにアンケート結果もふまえ、「PCI」、「ペースメーカー」、「アブレーション」、「人工心肺」、「補助循環」業務において、それぞれの臨床教育の第一線で活躍されている方々ならびに養成校の方々が一堂に会し、実際にどの様にしているのか、困っていることはないのか、課題にどの様に取り組んでいるのかなど、業務ごとに現状と問題点を洗い出させていただきます。

それぞれが何をすればよいのか、進歩著しい循環器領域の治療現場で、本当に役に立つ学生教育について考え、臨床現場と教育現場が一体となって学生教育に取り組むことにより、より優秀な学生が輩出されることを願っております。

(申込期間が限られておりますので、早めの申込みをお願い申し上げます。)

#### ■開催概要

- ◆会 期 : 平成28年11月12日(土) 13:00～16:30
- ◆会 場 : ヒューリックホール(東京・浅草橋) (92名)
- ◆研究会参加費 : 3,000円(オンライン決済)
- ◆申込期間 : 平成28年9月1日(木)～9月13日(火)
- ◆申込方法 : JSCホームページをご確認ください。  
(事前申し込みのみです。当日受付は致しませんのでご注意ください。)

#### ■プログラム(予定)

- ◆第26回日本臨床工学会京都大会 教育研究会ワークショップ報告
- ◆医療現場における循環器領域に関する教育の現状  
「アンケート結果報告」
- ◆臨床工学技士養成校より、循環器領域に関する教育の現状と課題  
発言1 「全国養成校アンケート結果報告」  
発言2 1 教育施設の現状、「シミュレーター教育等の現状と課題」
- ◆医療現場より、循環器領域に関する臨床実習教育と課題報告  
発言3 「PCI教育」  
発言4 「ペースメーカー教育」  
発言5 「アブレーション教育」  
発言6 「人工心肺教育」  
発言7 「補助循環教育」
- ◆総合ディスカッション

毎年開催している日本臨床工学技士教育研究会では、一昨年度より代謝、呼吸、循環の3領域の卒前・卒後教育についてシリーズ化し、今年度は循環領域を主体にディスカッションします。

#### ■お問い合わせ (詳細は当会のホームページで随時ご案内致します)

公益社団法人 日本臨床工学技士会 JACE 研修センター (本部)

JSCホームページのお問い合わせフォームよりお願いいたします。

〒113-0034 東京都文京区湯島1-3-4 KTお茶の水聖橋ビル5階